

<添付資料>

ボーコンセプト 新生「LIVE OFFICE」の概要

- LIVE OFFICE では「暮らすように働く」ことのできるヒュッケな空間づくりのために以下の手法を取り入れました。

1) ブロックゾーニング(BLOCK ZONING)

通常オフィスはひとつながりの大空間ですが、住宅では限られた空間の中に壁があり、コーナーがあり、そこにソファが置かれ、花瓶が置かれ・・・と様々な世界観が表現されます。そのような住宅の考え方と同じように、ボーコンセプトのオフィスではあえて視線が程よく遮られる位置に壁を多く設けることで、ブロックごとのゾーニングを行い、一般的なオフィスの大空間にはない居心地の良さを実現しています。

2) ポケットスペース(POCKET SPACE)

ブロックゾーニングを行うことで空間と空間の隙間に新たに生まれた空間のことをポケットスペースと呼びます。コの字に壁で囲まれたスペースやコーナースペースなどのポケットスペースは様々な機能と表情を見せることができると同時に、家具を引き立てる最適な場所となっており、ボーコンセプトの世界観、ボーコンセプトの家具の魅力を最大限に引き立たせることができる重要なエリアです。

3) ホームライクオフィス(HOMELIKE OFFICE)

住宅とオフィスでは空間の構成の仕方が全く異なり、従来であれば、住宅には住宅用の家具を、オフィスにはオフィス用の家具を、と分けられてます。LIVE OFFICE では、そういった家具の垣根はなく、執務スペースにソファがあったり、オフィス用昇降デスクのすぐ横にソファで構成したコミュニケーションスペースがあったりとオフィス家具と住宅用家具をミックスして配置しています。ホームライクオフィスに基づく空間構成によって、家のような居心地のよい空間づくりのベースが作られ、そこに弊社の家具を最適に配置することによって「暮らすように働くことができる、居心地の良いオフィス」を実現しています。



BoConcept®

- 「LIVE OFFICE」内の家具や小物類は全て、「ヒュッケ」の価値観をベースにデザイン・製作された当ブランドの製品で取り揃えており、弊社の経験豊富なインテリアスタイリストが「暮らすように働く」オフィス空間をコーディネートしております。
- 今回のリニューアルにおいては、「タスクデスクの概念を取り除く」をテーマに、家具を自宅に置くような感覚でソファなどのルーズファニチャーを設えることで、時にはソファで寝ころんだり、足を放り出したりできるような空間を生み出し、弊社が提唱する「暮らすように働く」というメッセージをこれまで以上に具現化することを目指しました。
- 同時に、ABWにおいて定義される10の活動 (High-focus, Low-focus, Call, Duo, Dialogue, Create, Coordinate, Inform, Relax, Technical) の中でも「Create」と「Relax」に特化し、執務スペースの中にコミュニケーションエリアを点在させ、偶発的なコミュニケーションが生まれやすく、部署をこえた交流やイノベティブなアイデアが生まれやすい空間を実現しました。

